

①-1 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-49	高等学校	外国語	論理・表現Ⅲ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	論Ⅲ・708	EARTHRISE English Logic and Expression Ⅲ Standard		

1. 編修の基本方針

編修の基本方針として、日常的な話題、社会的な話題について、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの3つの領域の能力を段階的に伸ばすこと、また、論理の構成や展開を工夫して、主体的・自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことが可能となるよう留意した。

1. 題材は、学習者に親しみやすく、かつ学習者の生きる力を育成する内容豊かなものを採用した。
2. 言語材料に関しては、「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」との連携を考慮して**重要表現の定着**を重視するとともに、その基礎を活用して**論理的な英語表現の能力を伸ばす**ことが可能となるよう選定した。
3. 「書く」「話す」の**生産的2技能**を中心に育成する目的において、「読む」「聞く」の**受容的2技能**とも有機的に関連させる演習を随所に設け、学習者が**幅広い言語活動**に取り組むことができ、かつ積極的に授業に参加できるように配慮した。

上述した内容・構成によって、学習者が**多様な知識と教養**を身につけ、積極的に**社会の形成に参画**し、自他国の伝統・文化を尊重しつつ**国際社会の平和と発展**に寄与する態度を養うことが達成できる教科書となるように編修した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し Politeness	言語的配慮 (Politeness) について正しい知識を習得し、コミュニケーションにおいて相手との関係性に応じた適切な表現を追究する姿勢を養う。(第1号)。	前見返しⅠ・Ⅱ
後見返し アメリカ英語とイギリス英語の比較	アメリカ英語とイギリス英語における表記や表現、発音などの違いを正しく理解し、追究する姿勢を養う。(第1号)。	後見返しⅢ・Ⅳ
Warm-up	英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	pp. 4-7
Part 1 Lesson 1~10, Part 2 Lesson 1~5	英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号) 自己表現活動を通じて、創造性・自主性を養う。(第2号)	pp. 10-51 Activities ② (p. 11 ほか) Activities ③ (p. 11 ほか) Try (p. 11, p. 35 ほか)

	<p>平等意識や公平の観念を養うため，男女・人種などにおいて，偏りが生じないように配慮した。（第3号）</p> <p>言語の働き（機能）を念頭におき，様々な場面で相手の存在を意識して，より効果的なコミュニケーションを図る力を培う。（第1号）</p> <p>個人を尊重し，自主性を養い，職業などを意識させる題材を採用した。（第2号）</p> <p>他者と協力することの重要性や社会へ主体的に参画し，発展に寄与する態度を養う。（第3号）</p> <p>自然を大切にし，資源の節約を主題にした教材により，環境保全に寄与する姿勢を養う。（第4号）</p> <p>日本と他国を比較することで，その文化などに対する理解や互いを尊重する態度を養う。（第5号）</p> <p>社会的な問題等について理解を深め，それを実現することで，社会の一員としての責任意識を高める。（第3号）</p>	<p>か) Task 1 (p. 34 ほか) Task 2 (p. 35 ほか)</p> <p>写真・イラスト全般</p> <p>pp. 10-51</p> <p>pp. 16-17 pp. 28-29</p> <p>pp. 20-21 pp. 28-29</p> <p>pp. 44-47</p> <p>pp. 10-11</p> <p>pp. 20-21 pp. 44-47</p>
Speech & Presentation	英語でスピーチやプレゼンテーションをするための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。（第1号）	pp. 52-53
Discussion	英語でディスカッションをするための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。（第1号）	pp. 54-55
Debate	英語でディベートをするための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。（第1号）	pp. 56-58
Related Activities	<p>幅広い知識と教養を身に付ける。（第1号）</p> <p>自己表現活動を通じて，創造性・自主性を養う。（第2号）</p> <p>個人を尊重し，自主性を養い，職業などを意識させる題材を採用した。（第2号）</p> <p>社会的な問題等について理解を深め，それを実現することで，社会の一員としての責任意識を高める。（第3号）</p> <p>日本の伝統や文化などに対する理解を深めるとともに，国際社会の一員として，その発展に寄与する態度を養う。（第5号）</p>	<p>pp. 60-69</p> <p>pp. 60-69</p> <p>p. 65, p. 69</p> <p>p. 65</p> <p>p. 60, p. 63</p>

Expressions Plus	英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	pp. 70-74
Useful Expressions	英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	pp. 76-81

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

I. 教科書の特色

A. 「話す(やりとり)」「話す(発表)」「書く」の能力を総合的に伸ばす構成

1. トピック別の章立てで、目的や場面に応じたさまざまな表現を身につけて、「話す」「書く」という表現活動につなげることができる構成になっています。
2. Part 1 では、各課のトピックに関する会話文やEメールなどの文章を示し、それぞれのトピックについて「話す(発表)」活動を行うための「書く」活動を行い、また「書く」活動の準備として「話す(やりとり)」活動を行うことで、2技能3領域を総合的に伸ばす構成になっています。
3. Part 2 では、パラグラフの構成や支持文の展開の仕方を学習し、論理的な文章を書くことを目標にしています。

B. スピーチ・プレゼンテーションやディベート、ディスカッションなどの解説

スピーチ・プレゼンテーションやディベート、ディスカッションといった、比較的高度な言語活動について、わかりやすい例とともに解説しています。

II. 各課の構成

- A. **正課：表現の習得・練習と自己表現活動**がバランスよくできる内容としました。Part 1, Part 2 ともに各課で学んで達成する目標を3領域に分けて提示しています。

CAN-DO

- A. Speak (Interaction) 年中行事などでの食文化についてパートナーと伝え合う。
- B. Speak (Presentation) 年中行事などでの食文化に関する発表を30秒程度で行う。
- C. Write 「意見・希望・欲求を述べる」表現を用いて、年中行事などでの食文化に関する3文以上の文章を書く。

①Part 1

1. 左ページ：各課のトピックに関連する会話文やモデル文を掲載しています。会話文やモデル文に出てきた重要表現は、Functional Expressions で取り上げています。またイラストを使った機能表現を確認する活動(Check)を設けています。
2. 右ページ：トピックに関連するリスニング活動(Activities ①)や、与えられたテーマについてクラスメートと意見を交換しながら自分の考えや情報について表現する活動(Activities ②, Activities ③, Try)を設けています。Activities ③は左頁で学習した機能表現を用いて3文以上のまとまった文章を書く活動を、またTryは30秒程度の発表をする活動を、それぞれ行います。

②Part 2

1. 1 見開き目：パラグラフの構成・展開パターンについて、例文とともに概要を説明しています。
 - a) 左ページ：表やウェブサイトなどの資料とあわせて、例文を掲載しています。また資料や文章の内容を確認する活動を設けています。
 - b) 右ページ：その課で扱うパラグラフの構成・展開パターンについて、左ページの例文を用いて解説しています。
2. 2 見開き目：資料に基づいて、クラスメートと意見を交換しながら自分の考えや情報について表現する活動です。
 - a) Task 1：表やウェブサイトなどの資料に基づき、与えられたテーマについての文章を書く準備を行います。自分の考えを整理する活動(Task 1 ①, ③~⑤)や、クラスメートと意見を交換する活動(Task 1 ②)を行います。
 - b) Task 2：Task 1 で行った活動を元に、パラグラフの構成を意識しながら、英文を書きます。60-80語程度のまとまった文章を書く活動を行います。

B. 正課以外

1. Warm-up では、例文を用いた説明とペアワークの活動を通じて、コミュニケーションを行う上で重要な表現を復習します。
2. スピーチ・プレゼンテーションやディベート、ディスカッションの進め方や評価の観点を説明するページを設けました。
3. Related Activities として、正課と対応する活動を設けています。素材を読んで理解する活動と自分の意見や考えを書く活動を設けています。
4. Part 1 の Functional Expressions で取り上げた重要表現に加えて、関連する事項を例文とともに Expressions Plus のページでまとめました。
5. 各課のテーマに関連する語句を Useful Expressions としてまとめ、表現活動に適宜使えるようなものとししました。
6. Speaking と Writing それぞれのルーブリックを用意しています。
7. 前見返しでは、コミュニケーションの際に大切な Politeness について例文とともに解説しています。また後見返しでは、アメリカ英語とイギリス英語の違いについて解説しています。

◆教材配当表<B5判・88ページ・4色>

課	タイトル	学習事項
	Warm-up	重要表現の復習
Part 1 : Functional Expressions (機能表現)		
1	New Year's celebration 【Culture】	意見・希望・欲求を述べる
2	Working and studying online 【Life】	賛成・反対を述べる
3	Recreation 【Leisure】	勧誘する・招待する, 期待する
4	Open campus 【Education】	計画・意図を述べる
5	Places to buy lunch 【Economy】	提案・助言を行う
6	A helping hand 【Society】	程度・譲歩を述べる
7	Online shopping 【Shopping】	依頼・要請を行う
8	Sharing information 【Media】	許可を求める
9	Fixing dates 【Relationship】	謝罪する・謝罪に応じる
10	Work experience programs 【Career】	感謝・喜びを述べる
Part 2 : Paragraph Structure (パラグラフの展開パターン)		
1	Electronic devices / Home appliances 【Technology】	パラグラフの基礎
2	Travel advertisement 【Travel】	例示・列挙
3	Animal features 【Nature】	比較・対照
4	Environmental issues 【Environment】	原因・結果
5	History of Japanese emigration to Brazil 【History】	時間的順序
	Speech & Presentation	
	Discussion	
	Debate	
	Related Activities	

- * Warm-up : 例文を用いた説明とペアワークの活動を通じて, コミュニケーションを行う上で重要な表現を復習するページ。
- * その他 : Politeness (前見返し), 機能表現のまとめ Expressions Plus [pp.70-74], テーマ別表現のまとめ Useful Expressions [pp.76-81], アメリカ英語とイギリス英語の比較 (後見返し) を収録。

①-2 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-49	高等学校	外国語	論理・表現Ⅲ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
104・数研	論Ⅲ・708	EARTHRISE English Logic and Expression Ⅲ Standard		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

I. 全般的な留意点

- A. 題材は、学習者にとって身近に感じることができる日常的な話題や社会的な話題などバラエティに富んだ内容を取り揃えました。
- B. 英語を通じて積極的にコミュニケーションを図る態度を育成するため、問題演習の指示文は英語を用いています。また、表現活動を行いやすいように、モデルとなる会話文やパラグラフなど、適宜支援を与えるようにしました。
- C. 「話す(やりとり)」「話す(発表)」「書く」の2技能3領域をバランスよく扱い、さまざまな活動を通じて、論理的に話すことや、論理の展開や構成を工夫して文章を書くことを確実にできるような心がけました。
- D. さまざまな場面や状況を設定することで、多様な観点や立場からの考えや意見を引き出し、学習者が主体的・自律的に授業に参加することができるよう配慮しました。

II. 教科書の構成 ※教科書の概要は「編修趣意書(教育基本法との対照表)」をご参照ください。

A. 正課-Part 1

①

②

③

④

⑤

Part 1 Lesson 1

New Year's celebration

Read the following dialog between Lidia (a student from Spain) and Mr. Jones.

Lidia Why do Japanese people eat soba at midnight on New Year's Eve?
According to tradition, eating soba noodles on New Year's Eve will help you live a long life. **In my opinion**, eating healthy foods like soba all year round is a better way to make sure you live a long life!

Mr. Jones True. Actually, we have a similar custom in Spain. We eat twelve grapes at midnight on December 31 to **wish for** twelve lucky months ahead.

Lidia I see. Which do you prefer, soba or grapes?
Mr. Jones I love both. **I hope I'll be able to** eat both soba and grapes this New Year's Eve!

Listening Quiz Q1. Q2.

Functional Expressions

- **In my opinion**, eating healthy foods like soba all year round is a better way to make sure you live a long life. (0.4)
⇒ In my opinion, ~ は「私の意見としては～」と個人的な意見や見解を表す。
- **We wish for** twelve lucky months ahead. (0.6)
⇒ wish for ~ は「～を願う」という表現。want とは異なり、困難に思われるものに用いる。
- **I hope I'll be able to** eat both soba and grapes this New Year's Eve. (0.5)
⇒ hope は wish よりも実現する可能性があることについての願望を表す。 See page 70

Check

Look at the pictures and complete the sentences. Use the expressions in brackets.

(1) **(world peace)** (2) **(eat fish every day)** (3) **(osechi)**

(1) A: What are you doing?
B: I'm making paper cranes. _____

(2) _____ is a good way to stay healthy.

(3) A: Is there anything you particularly want to do in the winter holiday?
B: Yes, _____.

Activities

① You are going to hear someone talking about a tradition in France. Listen to the recording carefully and mark the statements T (True) or F (False).
(1) _____ (2) _____ (3) _____

② Discuss the following questions with your partner.

(1) Name one kind of food that Japanese people eat on special occasions.

(2) What do you know about it?

(3) What do you think of the custom?

③ Write a passage of at least three sentences about some food you eat on a special occasion. (Use at least one of the Functional Expressions on p. 10.)

TRY

Give a presentation to your classmates about the passage you have written above. Other students should ask questions or make comments.

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

10-6

- ① 二次元コード：Listening Quiz と、会話文/モデル文のリスニング及び音読・発音練習を行います。
- ② Model Dialog/Passage：各課のトピックに関する会話文/モデル文です。E メールやテキストメッセージ、ブログなどさまざまな形式の文章を扱います。
- ③ Listening Quiz：会話文/モデル文の内容に関する簡単なリスニング問題です。
- ④ Functional Expressions：会話文/モデル文の中で使われている重要表現の解説です。
- ⑤ Check：イラストの内容を英語で表現し、重要表現を確認する問題です。
- ⑥ CAN-DO：各課で達成すべき目標を 3 領域(「話す(やりとり)」「話す(発表)」「書く」)に分けて提示しています。
- ⑦ Activities ①：各課の重要表現を含むリスニング問題です。英文を聞いて Activities ③で書く文章をイメージさせます。
- ⑧ Activities ②：クラスメートと意見を交換しながら自分の意見や考えを書くための準備を行う活動です。
- ⑨ Activities ③：Activities ②の内容を元に、学習した機能表現を用いてまとまった文章を書く活動です。適宜、Hints を付けています。
- ⑩ Try：Activities ③の内容を元に発表を行い、クラスメートと意見交換を行う活動です。

B. 正課-Part 2

1. 1 見開き目

Part 2 Lesson 4
Environmental issues

Look at the following table and read the passage.

Estimated Population	2020	2050	2100
World	7.795 billion	9.735 billion	10.875 billion
Japan	126 million	106 million	75 million

The effects of overpopulation
 It may be hard to believe for people living in Japan, but the world is facing a serious problem of overpopulation. This causes many other problems. For example, the demand for food is increasing. Forests are being cut down to grow crops and raise domestic animals. Also, due to overpopulation, huge amounts of natural resources are being used to produce the goods people want to buy. Overpopulation is thus a major cause of environmental destruction. To protect the environment, we must find humane ways to manage population growth.

Words & Phrases
 overpopulation 人口過多 / base へに集まる / demand 需要 / crop 農作物 / domestic animal 家畜 / natural resources 天然資源

◎ Review the passage
 Answer the following questions in English. Then check your answers with your partner.
 (1) What is the main topic of the passage?
 (2) What does the table tell us about population trends between 2020 and 2100?
 (3) According to the passage, what must the world do?

CAN-DO

- A. Speak (Interaction) 資料に基づき、聴解問題についてパートナーと伝え合う。
- B. Speak (Presentation) 資料に基づき、読解問題に関する発表を1分程度で行う。
- C. Write 資料に基づき、原因・結果を整理して読解問題に関する60-80語の文章を書く。

Paragraph structure 原因・結果

☑ p. 44 の文章について、パラグラフの展開を確認しよう。
 因果関係を読むときには、原因 (cause) をまず述べてからその結果 (effect) を示す方法と、結果を先に示してその原因をあとに続ける方法があります。

Topic sentence (主題文)
 ...主題となる問題について述べる。
 It may be hard to believe for people living in Japan, but the world is facing a serious problem of overpopulation.
 [Note] この文章では、最初に「人口過多」という原因を提示しています。

Supporting sentences (支持文)
 ...主題の原因と結果について、具体的な内容を説明する。
 This causes many other problems.
 For example, the demand for food is increasing.
 Forests are being cut down to grow crops and raise domestic animals.
 Also, due to overpopulation, huge amounts of natural resources are being used to produce the goods people want to buy.
 [Note] (3)(4) は結果①「食料の需要が高まり、農作物や家畜を育てるために森林が伐採されている」を、(5) は結果②「人々が買いたいと思う商品を生産するために大々天然資源が消費されている」を説明しています。

Concluding sentences (結論文)
 ...原因と結果のまとめや、自分の意見を述べると効果的である。
 Overpopulation is thus a major cause of environmental destruction.
 To protect the environment, we must find humane ways to manage population growth.
 [Note] (6) は原因と結果の要約、(7) は自分の意見を述べています。

Expressions used to show cause and effect (原因・結果を表す語)

Cause 原因	cause, due to ~, because of ~, owing to ~
Effect 結果	as a result, therefore, for this reason, thus

☑ p. 44 の文章に使われている原因・結果を表す語句を抜き出してみよう。

- ① 二次元コード：モデル文のリスニングを行います。
- ② 素材：各課のトピックに関連する図表やウェブサイトなどを提示しています。
- ③ Model Passage：各課のトピックに関するモデル文です。
- ④ Review the passage：モデル文の内容を確認する活動です。
- ⑤ CAN-DO：各課で達成すべき目標を 3 領域(「話す(やりとり)」「話す(発表)」「書く」)に分けて提示しています。
- ⑥ Paragraph structure：モデル文を使ってパラグラフの展開を確認します。
- ⑦ Expressions used to show ...：各課のパラグラフの展開でよく使われる表現を確認します。

2. 2 見開き目

Part 2 Lesson 4

Activities

1 Look at the table and chart below. Prepare to write a passage about energy use in Japan.

Table: Energy use in Japan

	1973	2010	2018
Fossil fuels	97.3 %	81.2 %	85.5 %
*Renewable energy	0.1 %	4.4 %	8.2 %
Others	2.6 %	14.4 %	6.3 %

*solar energy, wind energy, etc.

Figure: Life cycle CO₂ emissions of various power generation technologies

① Direct CO₂ emission (construction, transportation of fuel, O&M, etc.)
② Operation and maintenance

⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮

①-a. Write sentences to explain some of the information in the table and figure.

①-b. Write down some of the *consequences of using fossil fuels or renewable energy. You can write what you already know, or you can do some research on the topic.

② Share the information you wrote in ①-a. and ①-b. with your partner.

③ Decide the title of your passage.

④ Write your topic sentence.

⑤ Write supporting sentences.

⑥ Write 60 to 80 words about energy use in Japan. Use the information on p. 46.

Hints ④ ⑤ ⑥

④ We need to achieve a carbon-free society, but Japan still relies heavily on fossil fuels for its energy needs.

⑤ Since fossil fuels emit a lot of CO₂ when they are burned, their use increases the effects of global warming.

⑥ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮

Try ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮

① Give a presentation to your classmates about the passage you have written above.

② Discuss with your classmates what Japan needs to do to achieve a carbon-free society.

46 頁 Part 2

Lesson 4 47 頁

⑧ 素材：各課のトピックに関連する図表やウェブサイトなどを提示しています。

⑨ Task 1 ①：素材について情報や自分の考えを整理する活動です。

⑩ Task 1 ②：クラスメートと情報や考えを交換する活動です。

⑪ Task 1 ③：素材についての文章のタイトルを考える活動です。

⑫ Task 1 ④：素材についての文章の主題文を考える活動です。

⑬ Task 1 ⑤：素材についての文章の支持文を考える活動です。

⑭ Task 2：Task 1 で行った活動を元に、パラグラフの構成を意識しながら、まとまった文章を書く活動です。適宜、Hints を付けています。

⑮ Try：Task 2 の内容を元に発表を行い、クラスメートと意見交換を行う活動です。

C. その他

1. Warm-up：例文を用いた説明とペアワークの活動を通じて、コミュニケーションを行う上で重要な表現を復習します。

2. Speech & Presentation, Discussion, Debate：スピーチ・プレゼンテーションやディベート、ディスカッションの進め方や評価の観点を説明しています。

3. Related Activities：正課と対応するトピックについての素材を読み、内容を確認する活動と、自分の意見や考えを書く活動を行います。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
前見返し Politeness	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項	前見返し I・II	—
Warm-up	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項	pp. 4-7	4
Part 1 Lesson 1-10	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 ア「論理・表現Ⅰ」及び「論理・表現Ⅱ」における学習内容の定着を図るために必要なもの イ 話すこと [やり取り] ウ 話すこと [発表] エ 書くこと ② 言語の働きに関する事項 内容の取扱い 「論理・表現Ⅰ」の 3 と同様に 取り扱うものとする。	内容 (1) Functional Expressions (p. 10 ほか) (2) Model Dialog/Passage (p. 10 ほか) Check (p. 10 ほか) Activities ① (p. 11 ほか) Activities ② (p. 11 ほか) Activities ③ (p. 11 ほか) Try (p. 11 ほか) (3) ① Activities ② (p. 11 ほか) Activities ③ (p. 11 ほか) Try (p. 11 ほか) ② Functional Expressions (p. 10 ほか) 内容の取り扱い 上記(2)に同じ	20
Part 2 Lesson 1-5	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 ア「論理・表現Ⅰ」における学習内容の定着を図るために必要なもの イ 話すこと [やり取り] ウ 話すこと [発表] エ 書くこと ② 言語の働きに関する事項	内容 (1) Paragraph structure (p. 33 ほか) (2) Model Passage (p. 32 ほか) Task 1 (pp. 34-35 ほか) Task 2 (p. 35 ほか) Try (p. 35 ほか) (3) ① Task 1 (pp. 34-35 ほか) Task 2 (p. 35 ほか) Try (p. 35 ほか) ② Paragraph structure	20

	内容の取扱い 「論理・表現Ⅰ」の3と同様に 取り扱うものとする。	(p. 33 ほか) 内容の取り扱い 上記(2)と同じ	
Speech & Presentation	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 ウ 話すこと [発表]	pp. 52-53	2
Discussion	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 イ 話すこと [やり取り]	pp. 54-55	2
Debate	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 イ 話すこと [やり取り] ウ 話すこと [発表]	pp. 56-58	3
Related Activities	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 イ 話すこと [やり取り] ウ 話すこと [発表] エ 書くこと	pp. 60-69	10
Expressions Plus	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (3) ② 言語の働きに関する事項	pp. 70-74	—
Useful Expressions	内容の取扱い 「論理・表現Ⅰ」の3と同様に 取り扱うものとする。	pp. 76-81	—
後見返し アメリカ英語とイギリス 英語の比較	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項	後見返しⅢ・Ⅳ	—
計			61